

課題

- 四国において観光は地方創生の切り札として期待される重要な分野であるが、タクシーについては、ドライバー不足により主要交通結節点においても円滑な乗り継ぎができないという状況が生じていることから、四国への来訪者が安心・安定して二次交通を利用できる環境を整備する必要がある。

プロジェクト概要

[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]

- 主要交通結節点におけるタクシーへの乗り継ぎを円滑化するため、乗車中の公共交通(一次交通)機関(高速バス、旅客船)の中でQRコードをスマートフォン等で読み取り、下車後の交通結節点で乗車するタクシーを手配するサービス(「乗り継ぎ円滑化サービス」)を提供する。

※鉄道の列車内からタクシーを手配するサービスについては、JR四国の「鉄道とタクシーの配車連携実証事業」において提供する。

- 周遊観光促進やタクシー手配の円滑化の観点から、目的地から次の目的地へのスムーズな次の移動手段確保のため、観光施設及び観光施設近隣の交通結節点(鉄道駅、空港)において、QRコードをスマートフォン等で読み取り、当該地点で乗車するタクシーを手配するサービス(「手配円滑化サービス」)を提供する。

[モビリティ・データの取得と活用]

- 本サービスを通じて取得したタクシーの利用者数、配車率、目的地等を集計し、利用者動向を分析することで、今後の検討材料とする。

[地域交通政策等との連携]

- 主要交通結節点、観光施設におけるタクシーへの乗り継ぎニーズを把握することで、タクシー事業者の業務運営の効率化に繋げるほか、香川県地域公共交通計画との整合性を引き続き確保しながら実証実験後の取組方針を検討する。

効果

- デジタル技術を活用してタクシーに円滑に乗車できる環境を整備することで、公共交通を利用したシームレスな観光が可能となり、四国エリアの魅力向上に繋がるほか、交通結節点におけるタクシーの待機時間が削減され、業務効率化が図られる。

事業の新規性

- 昨年度、四国旅客鉄道(株)及び(株)電脳交通が実施した特急列車内からのタクシー手配サービスの実証実験を参考に、高速バス、旅客船の車内からの手配も対象とすることで、交通モードを拡大した場合の実施手法を確立する。また、観光施設からのタクシー手配サービスを併せて提供することで、面的に二次交通を整備することが可能となる。

事業エリア/交通事業

事業エリア:香川県(瀬戸内国際芸術祭2025の開催地域を中心とする)

タクシー:対象交通結節点を営業区域に含むタクシー事業者/鉄道:JR四国(予讃線)、ことんでん(琴平線、志度線)/バス:高速バス(高松～徳島間)/旅客船:香川県の離島と本土を結ぶ航路の運航事業者 空港:高松空港/観光地:香川県内の主要観光施設

MaaSアプリ等

- (株)電脳交通 クラウド型配車システム(タクシー手配Webフォーム)及び香川Taxiアプリ

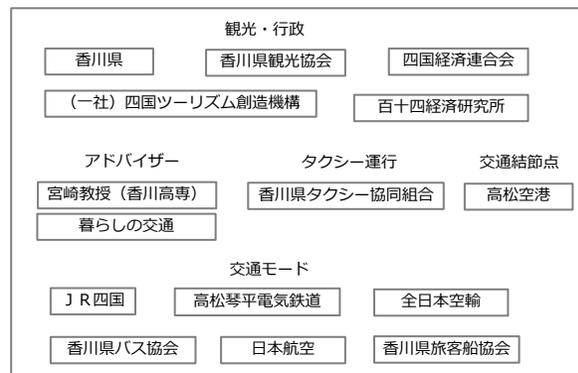
データの活用等

- データの取得方法:タクシー手配Webフォームにより、タクシー乗車場所、手配時間、目的地等を取得
- データの活用方法:データの活用方法:タクシーの利用者動向の分析、地域経済への影響の検証

座組

スケジュール

香川県タクシー利用利便性向上協議会



4月 協議会立ち上げ

4～7月 システム構築・QRコード設置・広報

8月～12月 実証運行

8月～2月 データ分析・効果検証